

第4回定例会 一般質問

区政をただす

(仮称)区民活動センターで

相談などの住民対応を

自由民主党議員団 篠 国昭



地域では、町会や自治会が、防犯など区民生活を守る公共・公益活動に取り組んでいる。区は、地域センターを(仮称)区民活動センターに転換するとしているが、その目的は何か。また、転換後も、住民からの相談対応や案内などを行うべきではないか。

使用料値上げは段階的に

今回の施設使用料の見直しは、区民のさまざまな活動に大きな影響を及ぼす。大幅な値上げとなるスポーツ施設に

妊婦健診の助成を拡充し

子育て支援を充実せよ

公明党議員団 岡本 いさお



子育てのスタートとなる妊婦健診は、出産までに平均で14回受診する。区は、この健診費用の5回を公費で負担



区役所総合窓口

①児童・生徒の安全安心の観点から、職員室に緊急地震速報装置を設置すべきではないか。②区は、20年度から5

については段階的に適用するなど、弾力的な対応を考慮すべきではないか。

区長 本来の負担額と急

激な負担増を勘案し、改定額の上限を現行料金の1.5倍までとしたもので、負担いた

少子化対策は家族尊重型で

「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議が提唱する「ワーク・ライフ・バランス」なる言葉を、家族を



哲学堂公園テニスコート

否定する道具にする人もいる。こうした方向に進めると、政府が最優先課題とする「ワーク・ライフ・バランス」と「家族再生」という命題とが裏腹になる恐れがあるのでは。

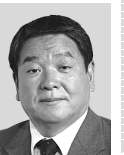
区長 男女共同参画基本

計画を策定中で、その中で「ワーク・ライフ・バランス」に重点的に取り組む。働き方を見直し、家族が協力し合うこ

児童館を縮小せず

待機児童の問題に取り組み

日本共産党議員団 小堤 勇



児童館を9館に縮小し、放課後の遊び場と民間委託する児童クラブも小学校に移行する予定である。①待機児童の問題の解消は、児童館を減ら

特別支援教育の条件整備に

早急に取り組み

区長 ①問題の解消とサ

ービス向上には、民間活力の活用が必要である。区立児童クラブは計画的に学校内での展開を図る。②区が引き続き

を増やすべきではないか。

教育長 ①今後も少人数指

導の充実に取り組みしていく。②相談員が巡回、臨時相談も

施設使用料改定を撤回せよ

①手続きが区民不在で拙速に進められた。条例案は提出

区長 ①意見交換会など

で、幅広い意見を聞き検討し

子育て支援を充実せよ

民主クラブのじ 恵子



①区は、子育て支援団体と協定を結び実施していた「子育てサポートルーム」を18年

区長 ①政策助成金交付

団体数は105団体、184事業である。うち、従来の補助金交付団体数は65団体、新規は13団体である。②助成団体は14団体である。子育て支援団体には、乳幼児親子支援

活用しやすい政策助成制度を

区は、19年度から青少年健全育成事業補助金を区民公益活動に関する政策助成として

本町二・三丁目まぢづくり

に住民意見を反映せよ

た。一定の理解は得ている。②施設の修繕などを充実し、サービスを継続するため、改定が必要である。③助成金の形で、支援の量や程度を見る必要があると考えている。



児童館



子育てひろば

まぢづくりに新たな視点を

これからのまぢづくりには、

区長 ①地域の課題解決

のため、地区全般のまぢづくりを検討していく。②まぢづくりの検討を進める過程で、

区長 ①地域の課題解決

のため、地区全般のまぢづくりを検討していく。②まぢづくりの検討を進める過程で、